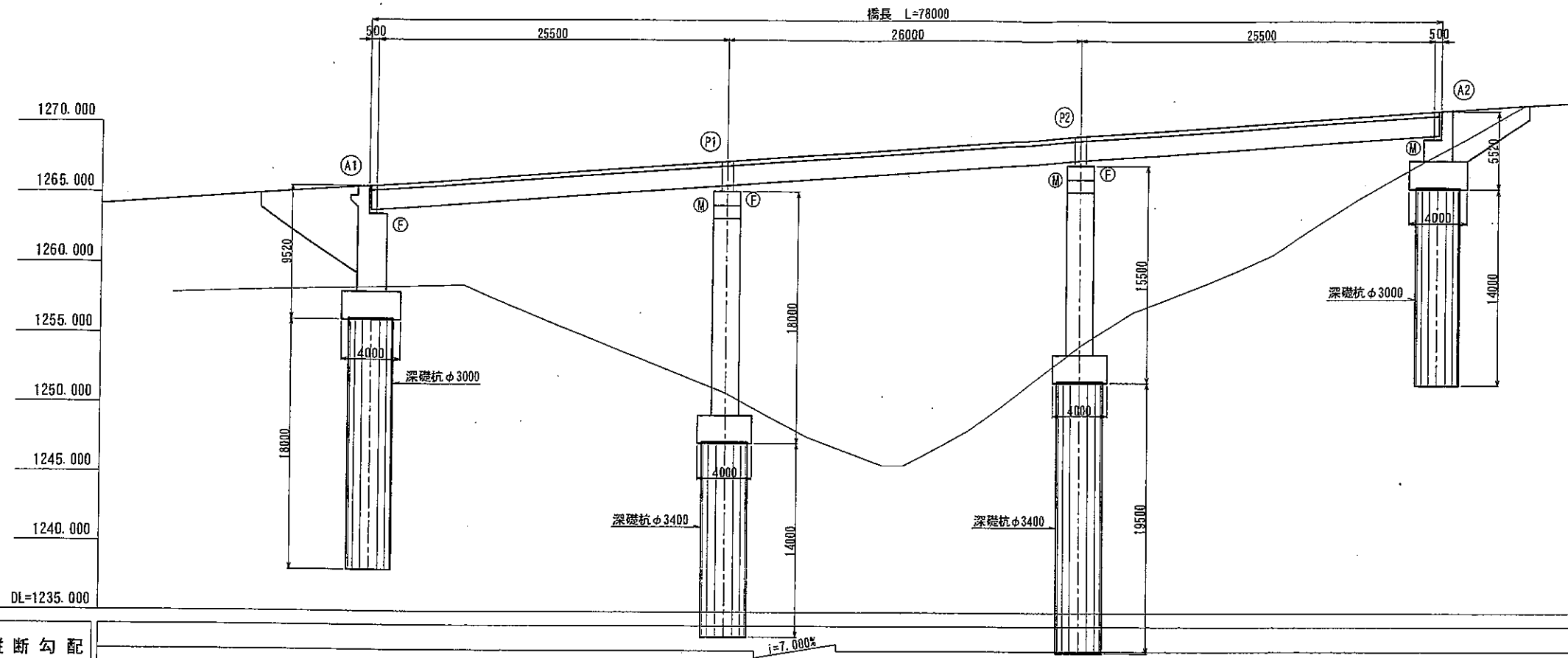
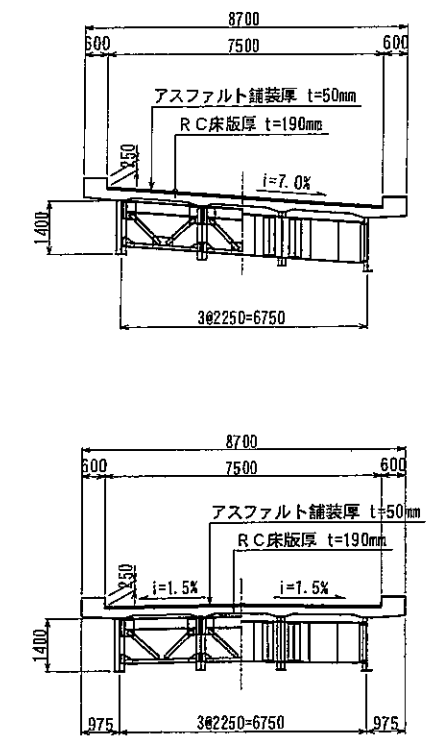


橋梁修繕(4の3) 見附橋 橋梁一般図

側面図=1:200

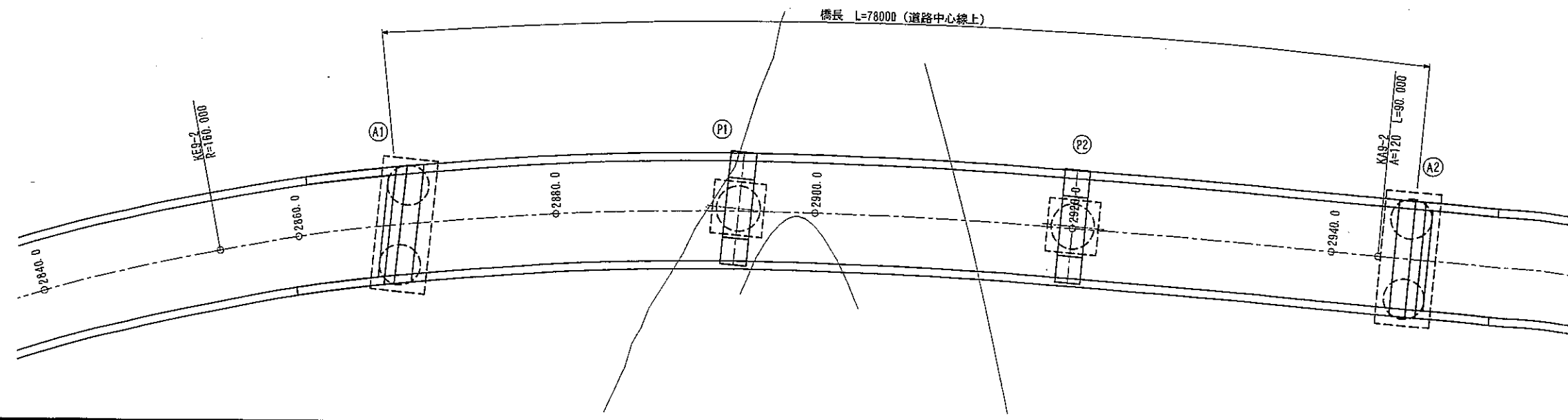


上部工標準断面図 S=1:100



縦断勾配	i=7.000%										
計画高		1264.510	1264.959	1265.519	1266.359	1267.339	1267.759	1269.159	1270.559	1270.810	1270.979
地盤高		1257.86	1258.08	1258.31	1258.40	1258.339	1247.69	1254.20	1264.63	1266.66	1270.979
単距離		6.420	8.000	12.000	14.000	6.000	20.000	3.580	2.420		
測点	(K49-2) 2853.58	2860.0	(A1) 2868.0	2880.0	(P1) 2894.0	2900.0	(P2) 2920.0	2940.0	(K49-2) 2943.58	2946.0	(A2)
平面曲線	R=160 LC=127.309	IP.No9 IA=69°47'20" A2=120 L=90.00									

平面図 S=1:200



設計条件

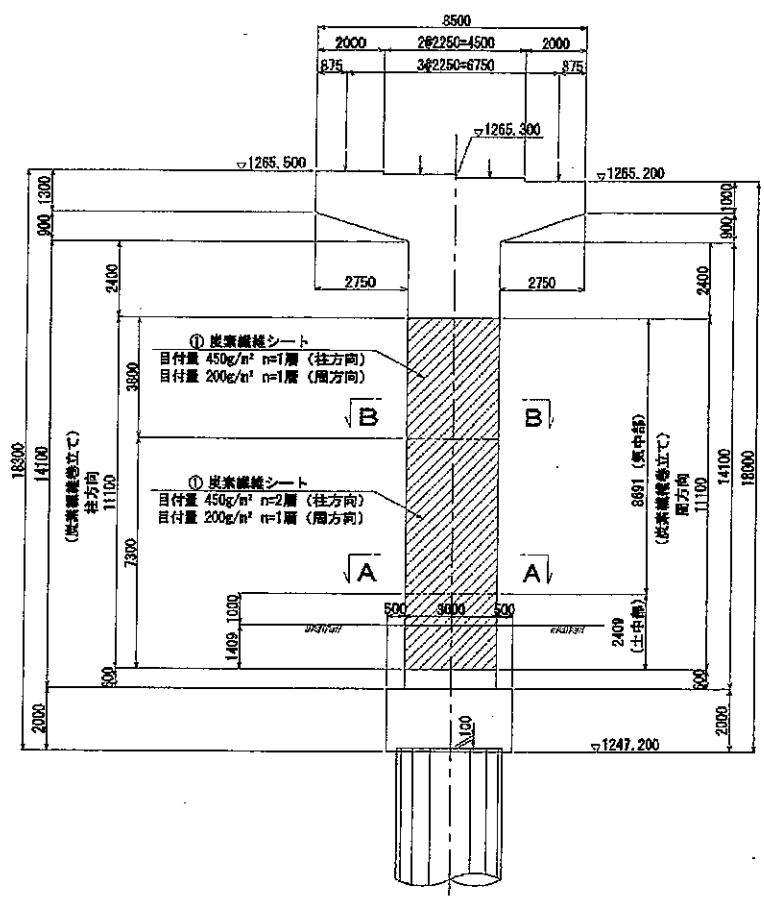
道路規格	第3種3級
橋格	1等橋
形式	単純活荷重合成桁3連
橋長	L=78.000m
支間長	0.5m+25.1m+0.85+25.1m+0.85m+25.1m+0.5m (道路中心)
幅員	0.6m+7.5m+0.6m
縦断勾配	7.0%
横断勾配	1.5% ~ 7.0%
荷重	TL-20 雪荷重 100kg/m ² 添加物荷重 100kg/m (主桁1本当り)
設計震度	水平震度 kH=0.2 鉛直震度 kV=0.0
許容応力度	コンクリート 床版 σ _{ck} =280 kg/cm ² 下部工 σ _{ck} =210 kg/cm ²
	鉄筋 床版 σ _{sa} =1400 kg/cm ² 下部工 σ _{sa} =1800 kg/cm ²
	鋼材 道路橋示方書による

平成 年度 403 工事
 橋梁一般図 橋尺図示
 (国) 142号
 小県郡和田村男女倉(見附橋)
 長野県道路公社
 設計会社 日本技術開発株式会社 管理技術者
 測量会社 株式会社 監査技術者
 調査会社 株式会社 主任技術者

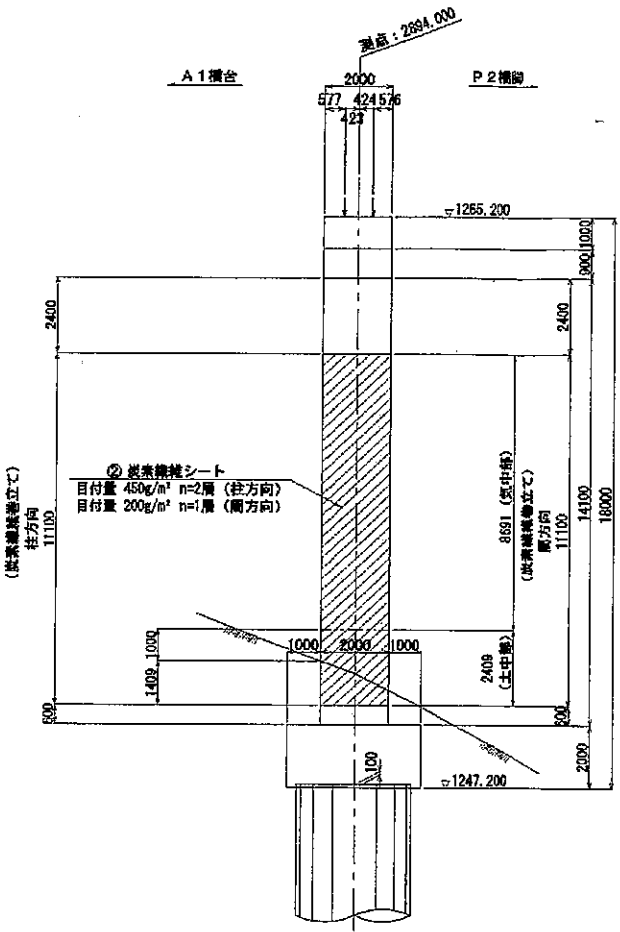
1/9

見附橋 P1橋脚炭素繊維巻き立て工補強図 S=1:100

正面図

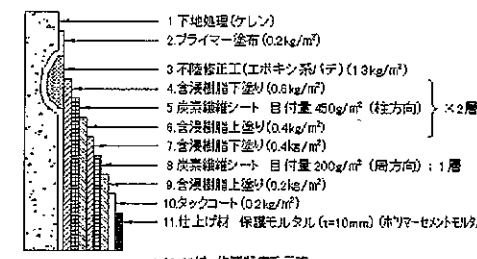


側面図

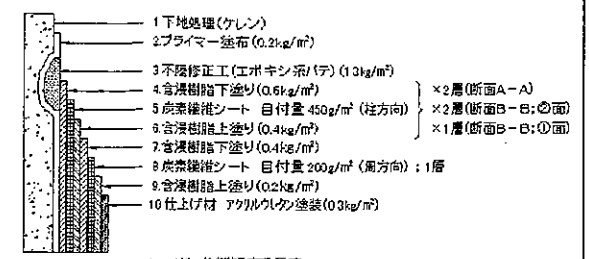


炭素繊維シート施工接着仕様図

(土中部)



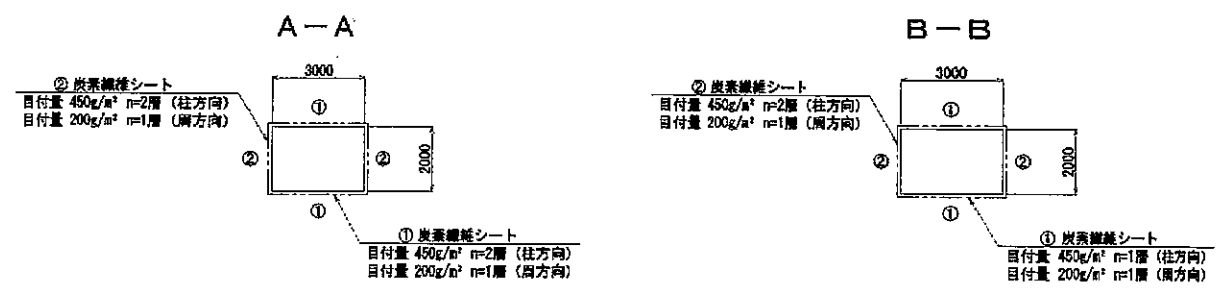
(気中部)



炭素繊維シート数量表

項目	単位	数量	備考
下地処理	m²	111.0	
プライマー	kg	22.2	材料歩掛 0.2kg/m²
エポキシ系/テ	kg	144.3	材料歩掛 1.3kg/m²
炭素繊維シート 目付量 450g/m²	m²	199.2	柱方向
炭素繊維シート 目付量 200g/m²	m²	111.0	周方向
含浸樹脂	kg	265.8	材料歩掛 0.6 1.0kg/m²
タックコート	kg	4.8	材料歩掛 0.2kg/m²
仕上げ材	真中部: アクリル樹脂塗装	kg	26.1 材料歩掛 0.3kg/m²
	土中部: 保護モルタル (t=10mm)	kg	500.5 材料歩掛 20.8kg/m²

平面図

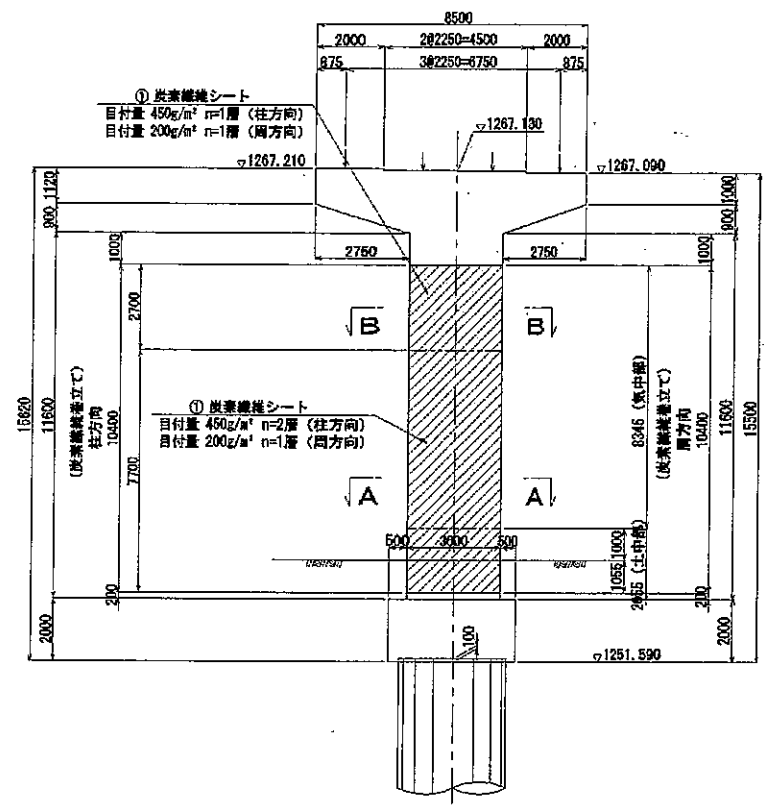


平成	年度	303	工事
図	示	(国) 142号	
小原部和田行男女者(見附橋)			
所	長	監	社
長野県道路公社			
設計会社	日本技術開発	管理技師者	
	株式会社	監理技師者	
測量会社		主任技師者	
調査会社		主任技師者	

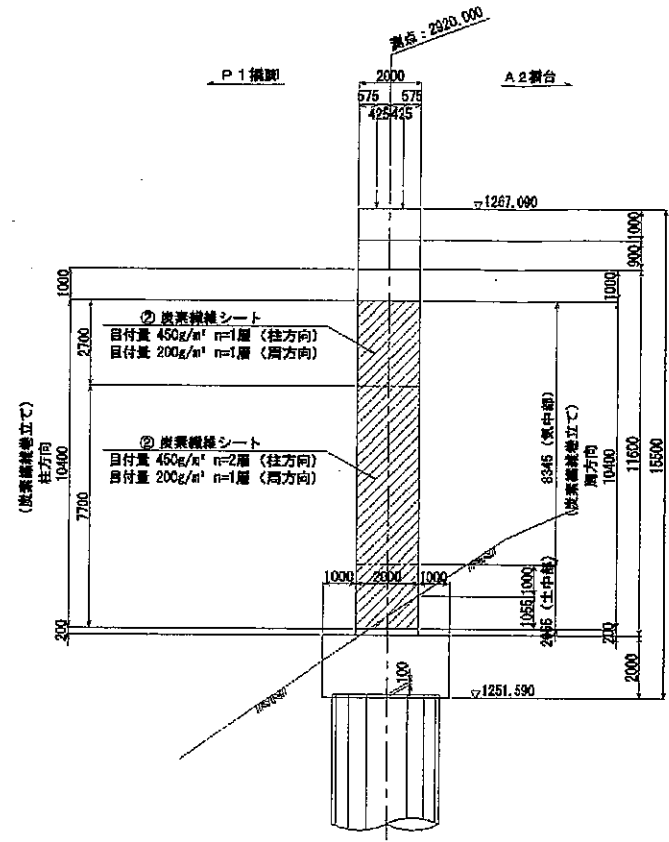
2/9

見附橋 P2橋脚炭素繊維巻き立て工補強図 S=1:100

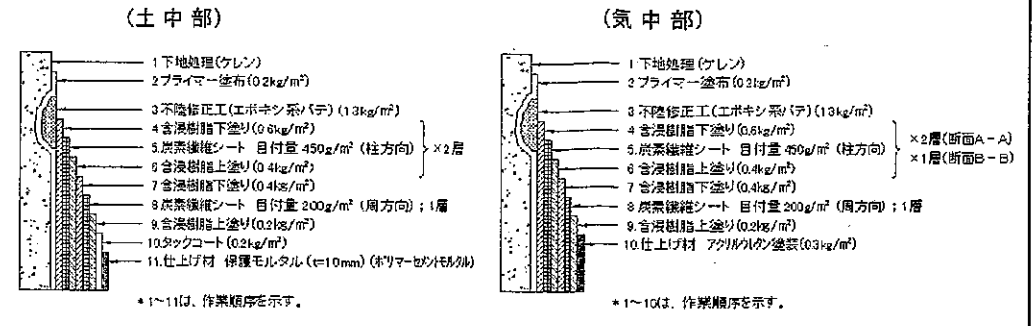
正面図



側面図



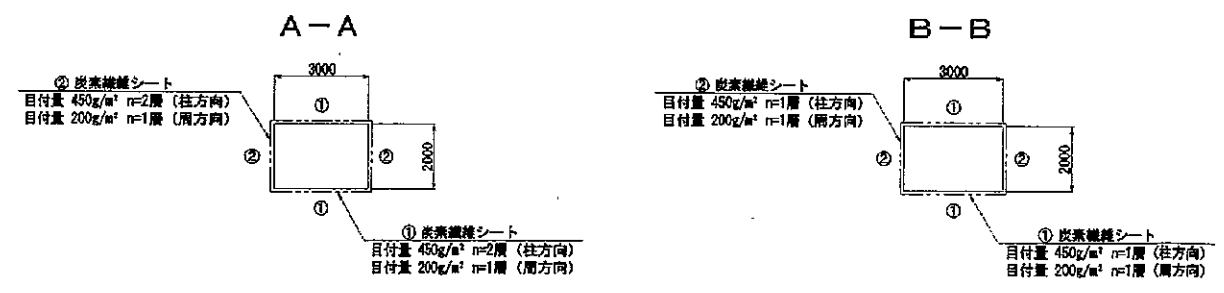
炭素繊維シート施工接着仕様図



炭素繊維シート数量表



項目	単位	数量	備考	
下地処理	m²	1040		
プライマー	kg	208	材料歩掛 0.2kg/m²	
エポキシ系/テ	kg	1352	材料歩掛 1.3kg/m²	
炭素繊維シート 目付量 450g/m²	m²	1810	柱方向	
炭素繊維シート 目付量 200g/m²	m²	1040	周方向	
含浸樹脂	kg	3434	材料歩掛 0.6, 1.0kg/m²	
タックコート	kg	41	材料歩掛 0.2kg/m²	
仕上げ材	気中巻; アクリル系塗料	kg	250	材料歩掛 0.3kg/m²
	土中巻; 保護モルタル (t=10mm)	kg	425.5	t=10mm 材料歩掛 20.8kg/m²

平面図

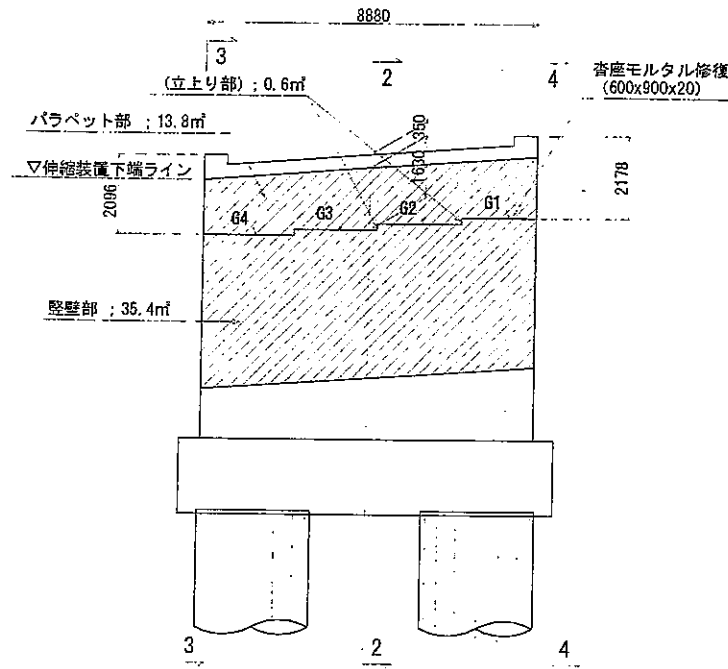


平成	年度	403	工事
図号	1	4	2
小栗郡和出行男女舎(見附橋)			
設計者	監理者	監理者	監理者
長野県道路公社			
設計会社	日本技術開発株式会社	監理会社	監理会社
監理会社	監理会社	監理会社	監理会社
監理会社	監理会社	監理会社	監理会社

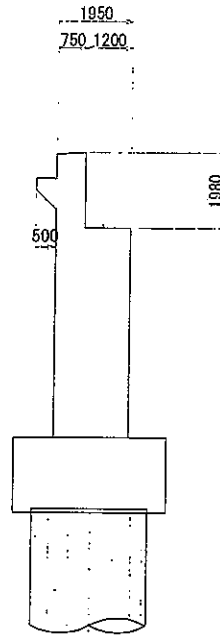
見附橋 A1橋台補修図 S=1:100

 : 部分打換え+保護塗装の範囲を示す。
 : 保護塗装の範囲を示す。

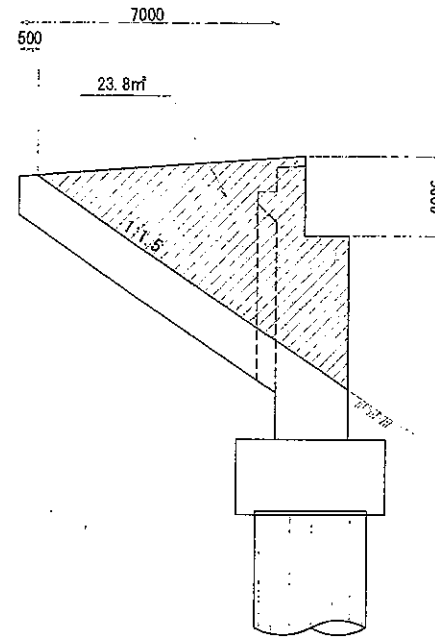
正面図 (1-1)



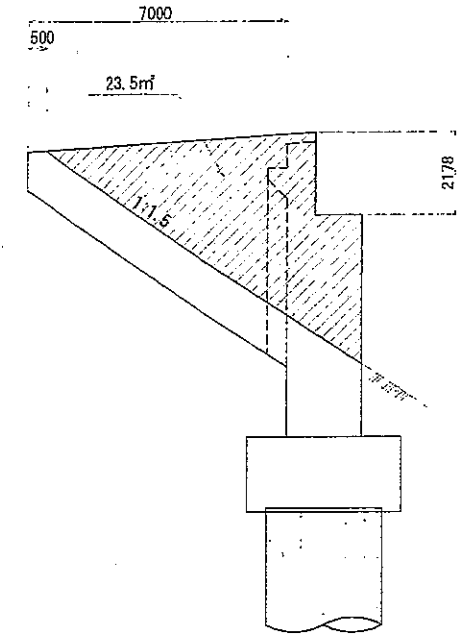
側面図 (2-2)



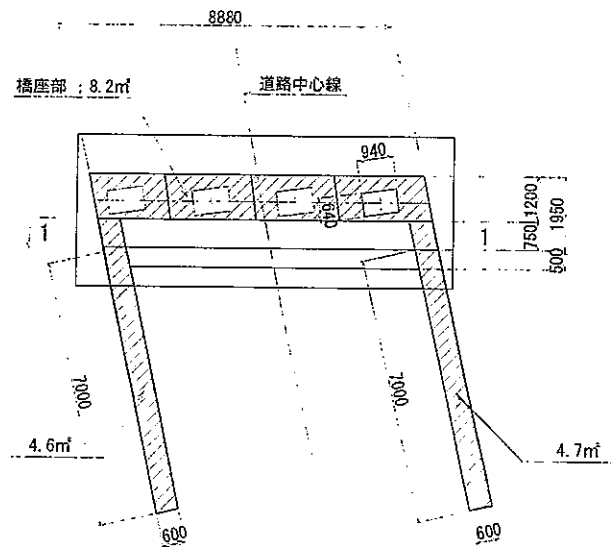
側面図 (3-3)





側面図 (4-4)



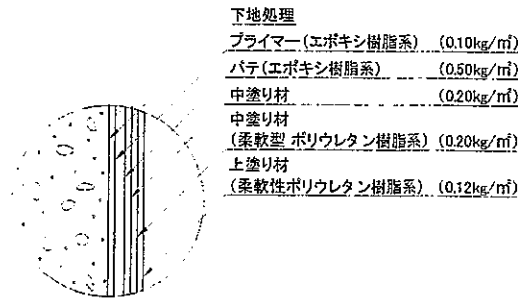
平面図



 : 部分打換え+保護塗装の範囲
 : 保護塗装の範囲

$\Sigma A = 0.0\text{㎡}$
 $\Sigma A = 13.8 + 35.4 + 0.6 + 8.2 + 4.6 + 4.7 + 23.8 + 23.5 = 114.6\text{㎡}$

保護塗装詳細図





A1橋台補修数量表

名称	規格	単位	P2橋脚	備考
ひび割れ注入	エポキシ樹脂	m	-	
既設構造物取壊し	RC構造物 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	-	躯体表面部 t=10mm
断面復旧	亜硝酸リチウム断面修復材	m ³	-	躯体表面部 t=10mm
表面保護塗装	柔軟性ポリウレタン樹脂塗装	m ²	114.6	
断面修復	軽量特殊ポリマーセメント	カ所	-	
沓座モルタル修復		カ所	1	(600x900x20)

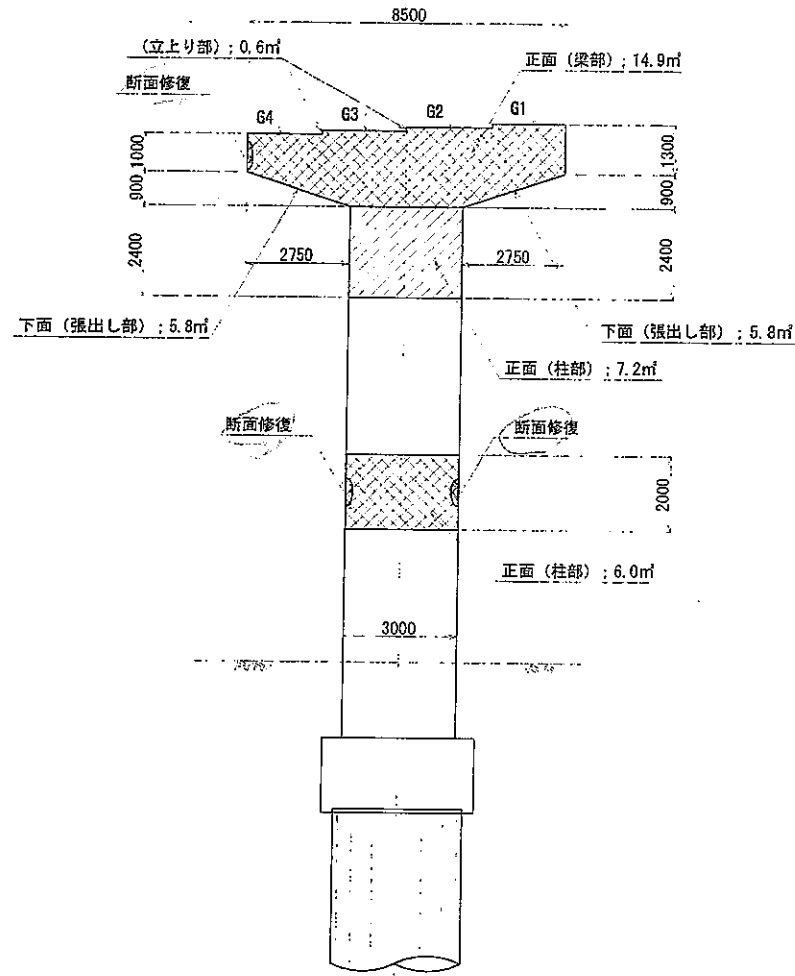
注
 1. 本図は平成15年度に実施された、現況損傷調査業務成果より構成したもの。
 2. 工事実施時には、箇所・範囲等を詳細に確認すること。

平成	年度	4/3	工事
番号	A12	橋脚	図示
(国)142号			
小泉郡和田村男女倉(見附橋)			
所長	課長	技師	
長野県道路公社			
設計会社	日本技術開発株式会社	管理技師	
調査会社	照査技師	主任技師	
調査会社	主任技師	主任技師	

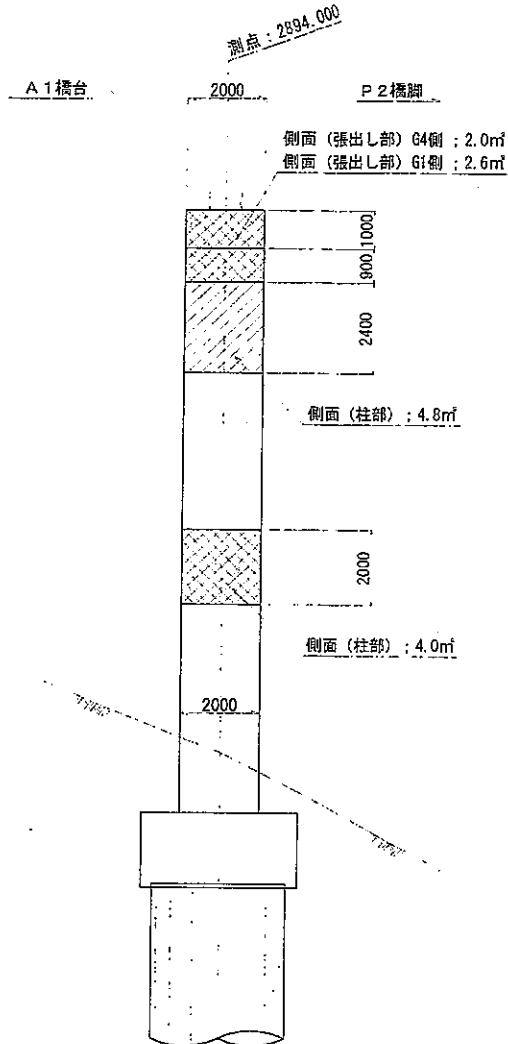
見附橋 P1 橋脚補修図 S=1:100



 : 部分打換え+保護塗装の範囲を示す。
 : 保護塗装の範囲を示す。

正面図 (1-1)



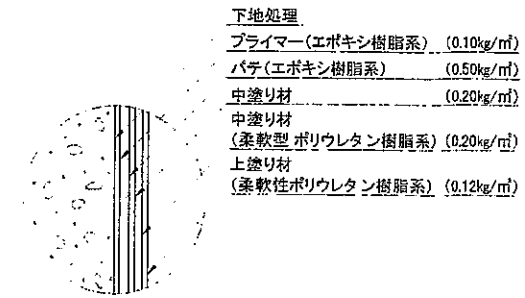
側面図



 : 部分打換え+保護塗装の範囲
 : 保護塗装の範囲

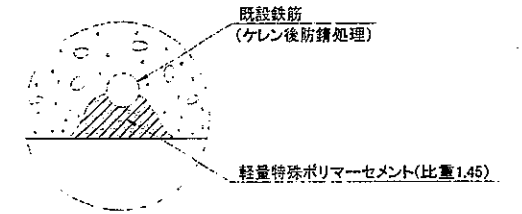
$\Sigma A = 11.0 + (14.9 + 5.8) \times 2 + 2.0 + 2.6 + 0.6 + (6.0 + 4.0) \times 2 = 77.6 \text{ m}^2$
 $\Sigma A = (7.2 + 4.8) \times 2 = 24.0 \text{ m}^2$

保護塗装詳細図



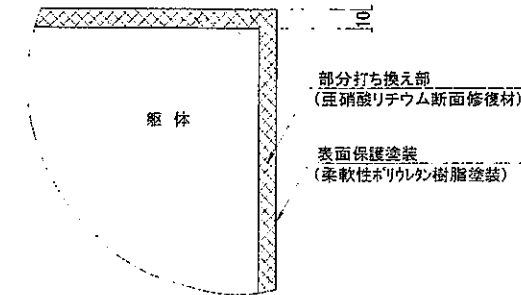
下地処理
 プライマー(エポキシ樹脂系) (0.10kg/m²)
 パテ(エポキシ樹脂系) (0.50kg/m²)
 中塗り材
 (柔軟性ポリウレタン樹脂系) (0.20kg/m²)
 上塗り材
 (柔軟性ポリウレタン樹脂系) (0.12kg/m²)

断面修復詳細図

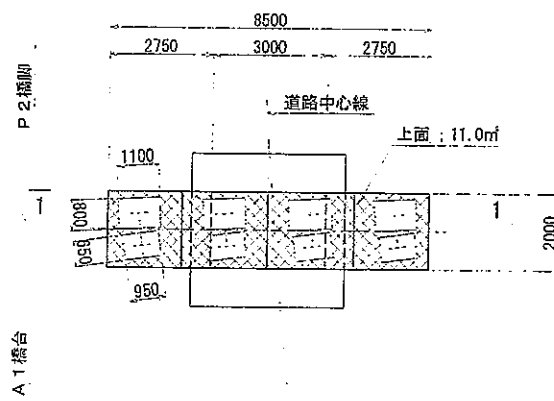


部分打換詳細図

- ① 既設躯体表面を t=10mm 除去。
- ② 亜硝酸リチウム断面修復材にて断面修復。
- ③ 保護塗装の施工。



平面図





P1橋脚補修数量表

名称	規格	単位	P1橋脚	備考
ひび割れ注入	エポキシ樹脂	m	---	
既設構造物取壊し	RC構造物 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	77.6	躯体表面部 t=10mm
断面修復	亜硝酸リチウム断面修復材	m ²	77.6	躯体表面部 t=10mm
表面保護塗装	柔軟性ポリウレタン樹脂塗装	m ²	24.0	
断面修復	軽量特殊ポリマーセメント	カ所	3	

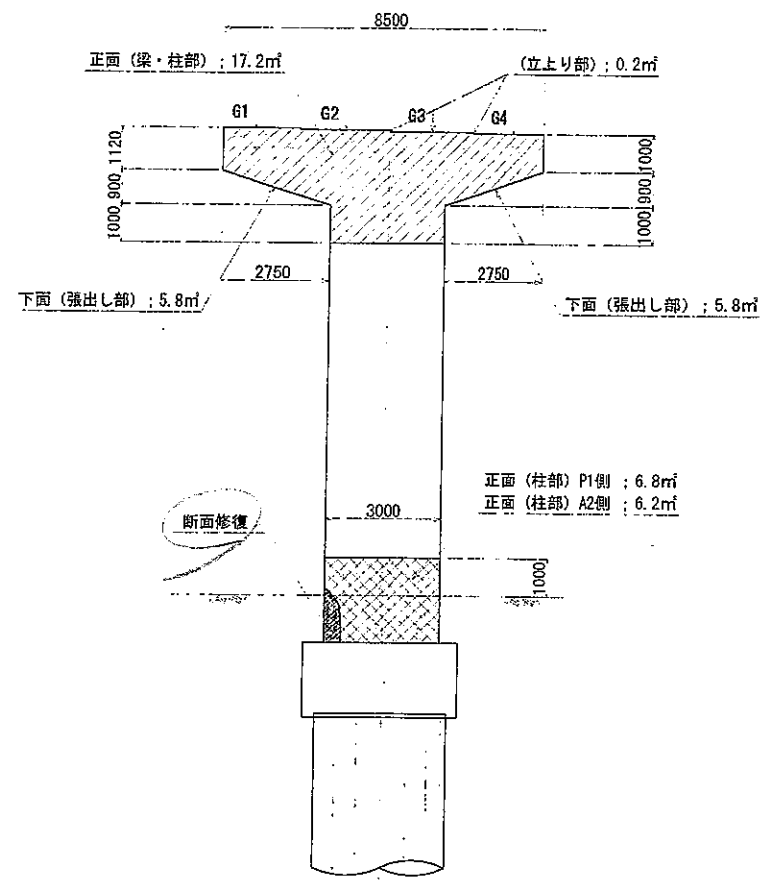
注
 1. 本図は平成15年度に実施された、現況損傷調査業務成果より構成したもの。
 2. 工事実施時には、箇所・範囲等を詳細に確認すること。

平成	年度	工事
15	年度	工事
(国) 142号		
小泉郡和田村男女倉(見附橋)		
所長	課長	係長
長	長	長
長野県道路公社		
設計会社	日本技術開発株式会社	管理技術者
調査会社	株式会社	調査技術者
測量会社		主任技術者
調査会社		主任技術者

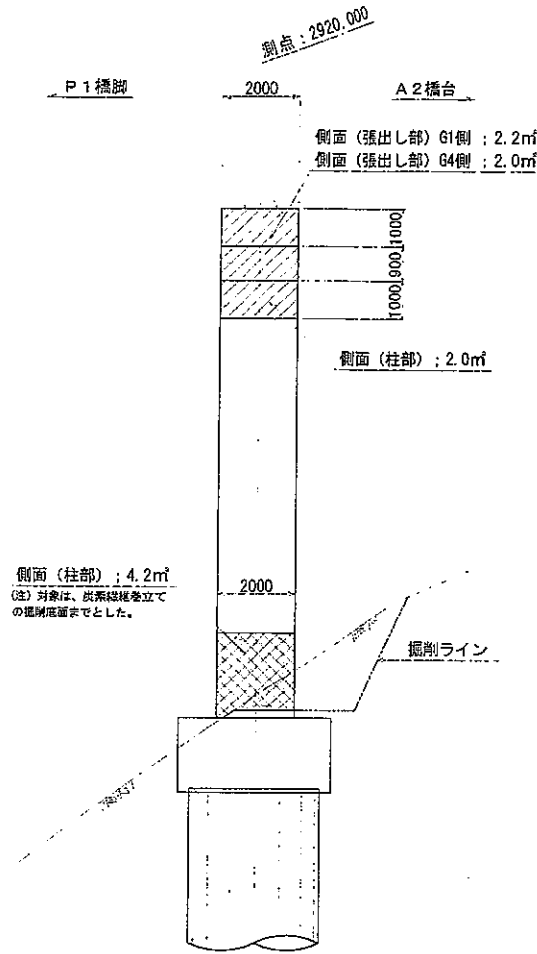
見附橋 P2橋脚補修図 S=1:100



 : 部分打換え+保護塗装の範囲を示す。
 : 保護塗装の範囲を示す。

正面図 (1-1)



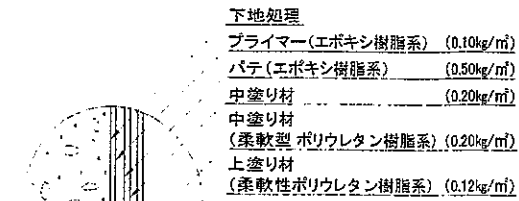
側面図



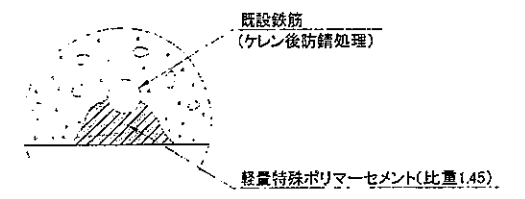
 : 部分打換え+保護塗装の範囲
 : 保護塗装の範囲

$\Sigma A = 6.8 + 6.2 + 4.2 \times 2 = 21.4 \text{ m}^2$
 $\Sigma A = 11.0 + (17.2 + 5.8 + 2.0) \times 2 + 2.2 + 2.0 + 0.2 = 65.4 \text{ m}^2$

保護塗装詳細図

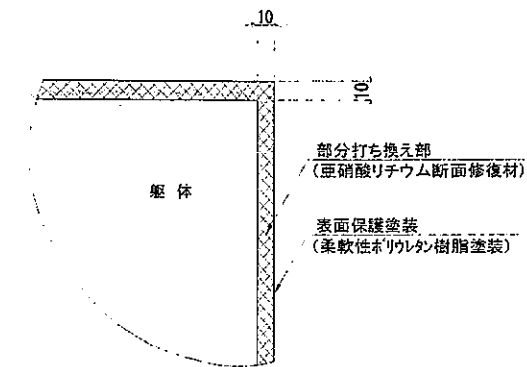


断面修復詳細図

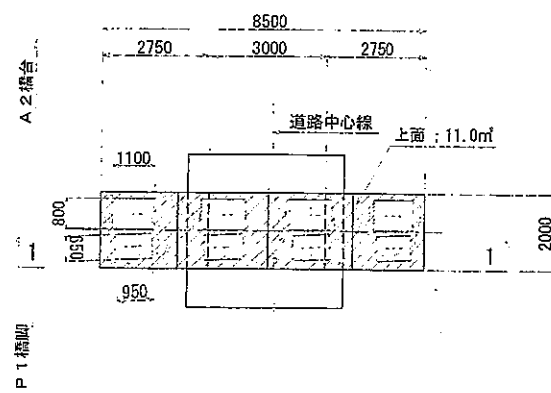


部分打換詳細図

- ① 既設躯体表面を t=10mm 除去。
- ② 亜硝酸リチウム断面修復材にて断面復旧。
- ③ 保護塗装の施工。



平面図





P2橋脚補修数量表

名称	規格	単位	P2橋脚	備考
ひび割れ注入	エポキシ樹脂	m	-	
既設構造物取壊し	RC構造物 $\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	m ³	21.4	躯体表面部 t=10mm
断面復旧	亜硝酸リチウム断面修復材	m ³	21.4	躯体表面部 t=10mm
表面保護塗装	柔軟性ポリウレタン樹脂塗装	m ²	65.4	
断面修復	軽量特殊ポリマーセメント	カ所	1	

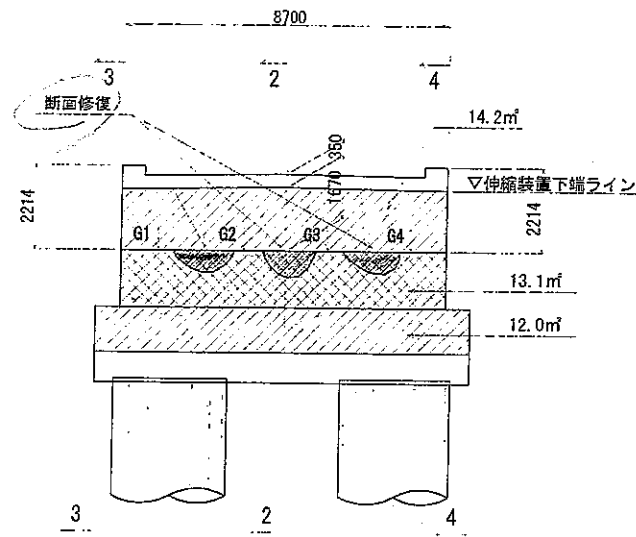
注
 1. 本図は平成15年度に実施された、現況損傷調査業務成果より構成したもの。
 2. 工事実施時には、箇所・範囲等を詳細に確認すること。

平成	年度	工事
15	年度	工事
(国) 142号		
小原郡和田村男女倉(見附橋)		
設計	監理	調査
設計会社	日本技術開発株式会社	監理技術者
調査会社	株式会社	調査技術者
調査会社	株式会社	主任技術者
調査会社	株式会社	主任技術者

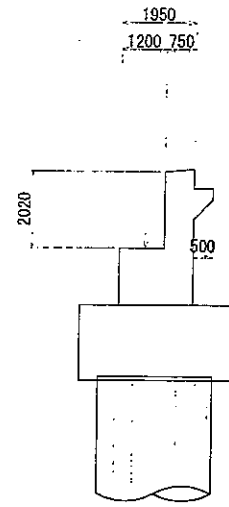
見附橋 A2 橋台補修図 S=1:100

 : 部分打換え+保護塗装の範囲を示す。
 : 保護塗装の範囲を示す。

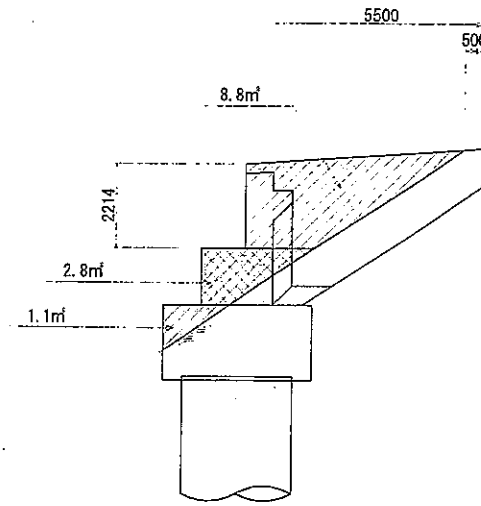
正面図 (1-1)



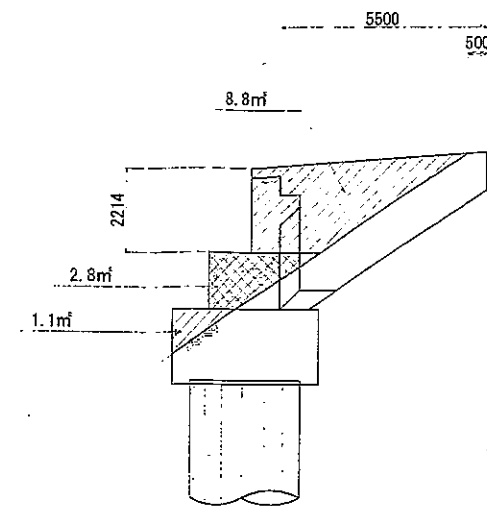
側面図 (2-2)



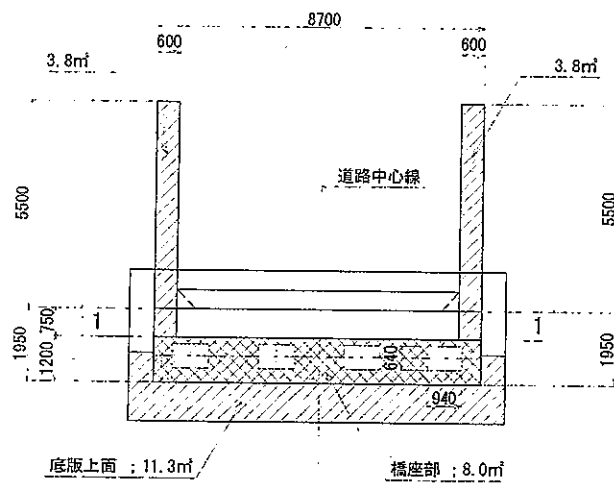
側面図 (3-3)



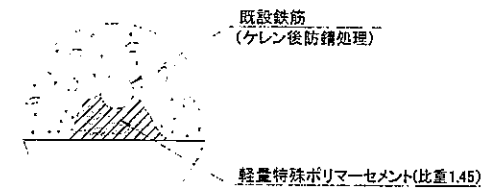
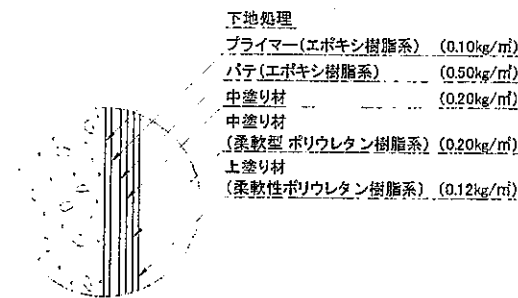
側面図 (4-4)



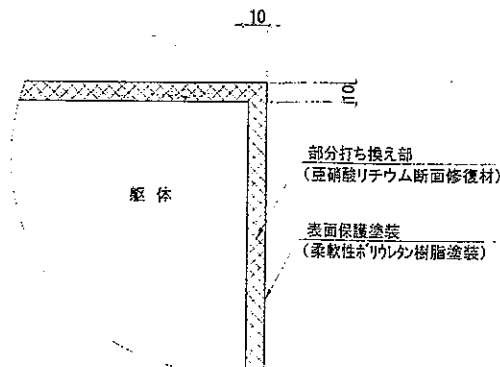
平面図



保護塗装詳細図



- ①既設躯体表面を t=10mm 除去。
- ②珪酸セリチウム断面修復材にて断面復旧。
- ③保護塗装の施工。



A2橋台補修数量表

名称	規格	単位	P2欄脚	備考
ひび割れ注入	エポキシ樹脂	m		
既設構造物取壊し	RC構造物 σ _{ck} =21N/mm ²	m ³	26.7	躯体表面部 t=10mm
断面復旧	珪酸セリチウム断面修復材	m ³	26.7	躯体表面部 t=10mm
表面保護塗装	柔軟性ポリウレタン樹脂塗装	m ²	64.9	
断面修復	軽量特殊ポリマーセメント	カ所	3	

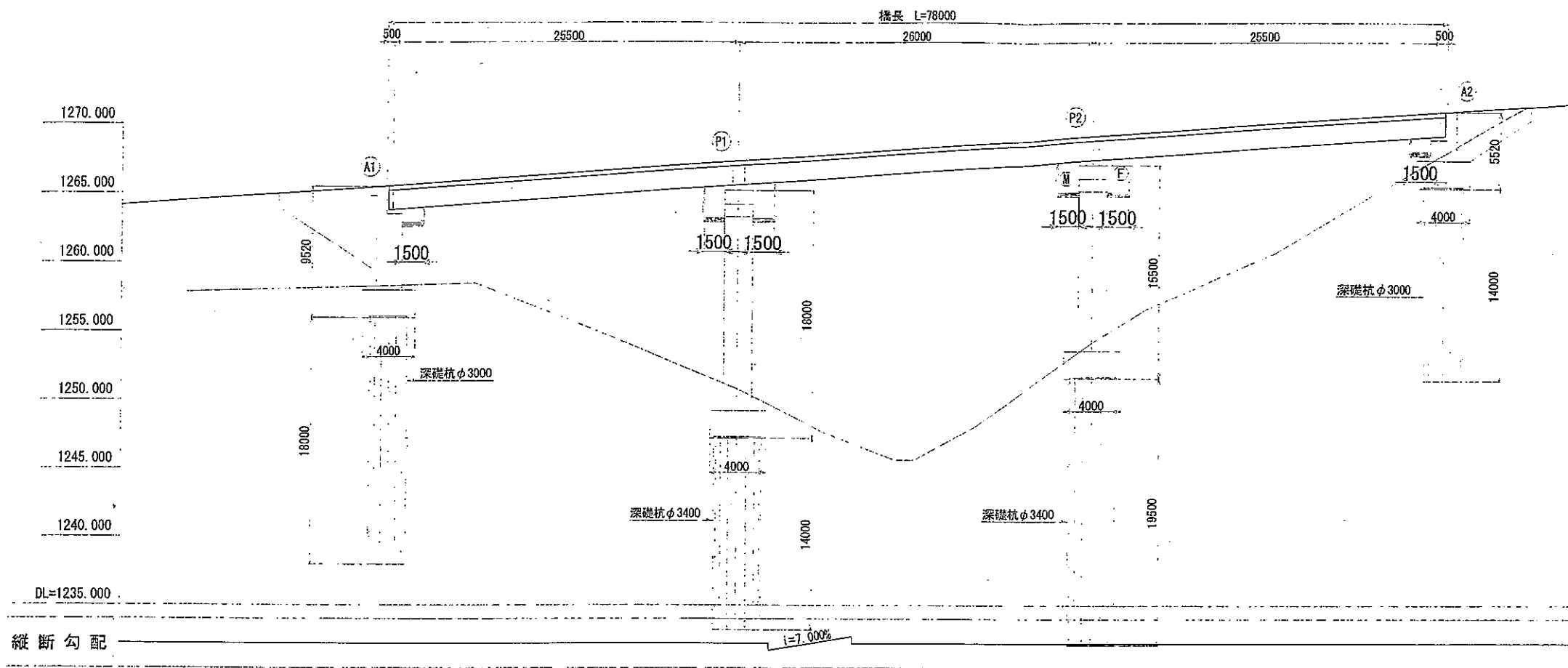
$\Sigma A = 8.0 + 13.1 + 2.8 + 2.8 = 26.7 \text{ m}^2$
 $\Sigma A = 14.2 + (8.8 + 3.8) \times 2 + 12.0 + 11.3 + 1.1 \times 2 = 64.9 \text{ m}^2$

注
 1. 本図は平成15年度に実施された、現況損傷調査業務成果より構成したもの。
 2. 工事実施時には、箇所・範囲等を詳細に確認すること。

平成	年度	工事
15	15	見附橋 A2橋台補修
(国) 142号		
小泉郡和田村男女倉(見附橋)		
所	課	課
長	長	長
長野県道路公社		
設計会社	日本技術開発株式会社	管理技術者
測量会社	株式会社	測量技術者
調査会社	株式会社	主任技術者
調査会社	株式会社	主任技術者

見附橋 下部工補修用吊り足場設置図

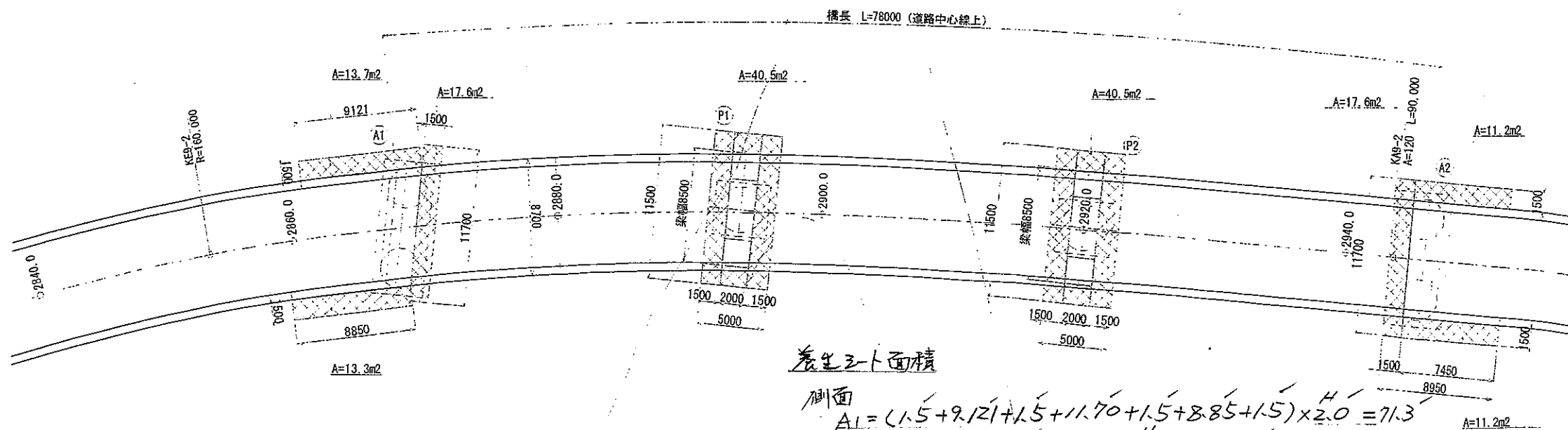
側面図 S=1:200



DL=1235.000

縦断勾配

平面図 S=1:200



養生シート面積

側面

$$A1 = (1.5 + 9.121 + 1.5 + 11.70 + 1.5 + 8.85 + 1.5) \times 2.0 = 71.3$$

$$P1 = (11.5 \times 2 + 5.0 \times 2) \times 2.0 = 66.0$$

$$P2 = (11.5 \times 2 + 5.0 \times 2) \times 2.0 = 66.0$$

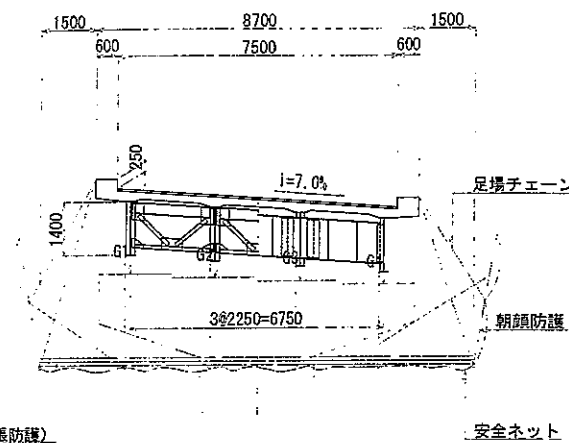
$$A2 = (1.5 + 8.95 + 11.70 + 8.95 + 1.5) \times 2.0 = 65.2$$

$$\text{計} 268.5 \text{ m}^2$$

底面

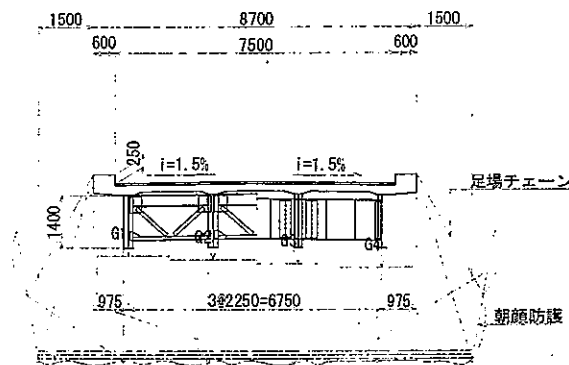
$$A = 165.6 \text{ m}^2 \text{ (上記率) 足場数量参照}$$

上部工標準断面図 S=1:100



吊り足場 (全面板張防護)

安全ネット



吊り足場 (全面板張防護)

安全ネット

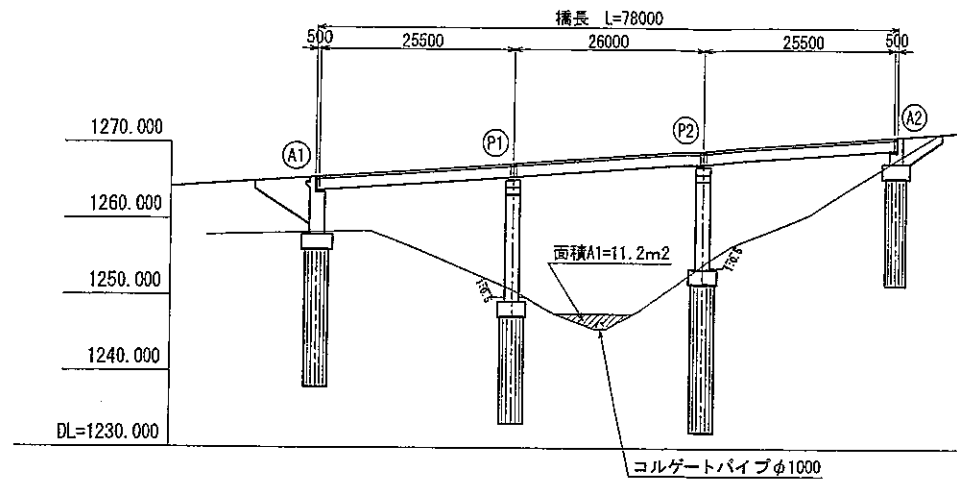
吊り足場数量表 (m2)

	A1	P1	P2	A2	計
吊り足場数量表	44.6	40.5	40.5	40.0	165.6

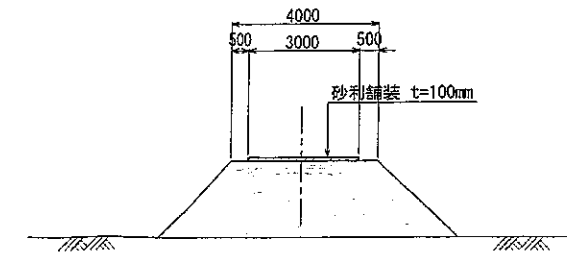
注: 足場設置は現地状況を計測のうえ設置のこと。

見附橋 施工計画図 S=1:500

側面図



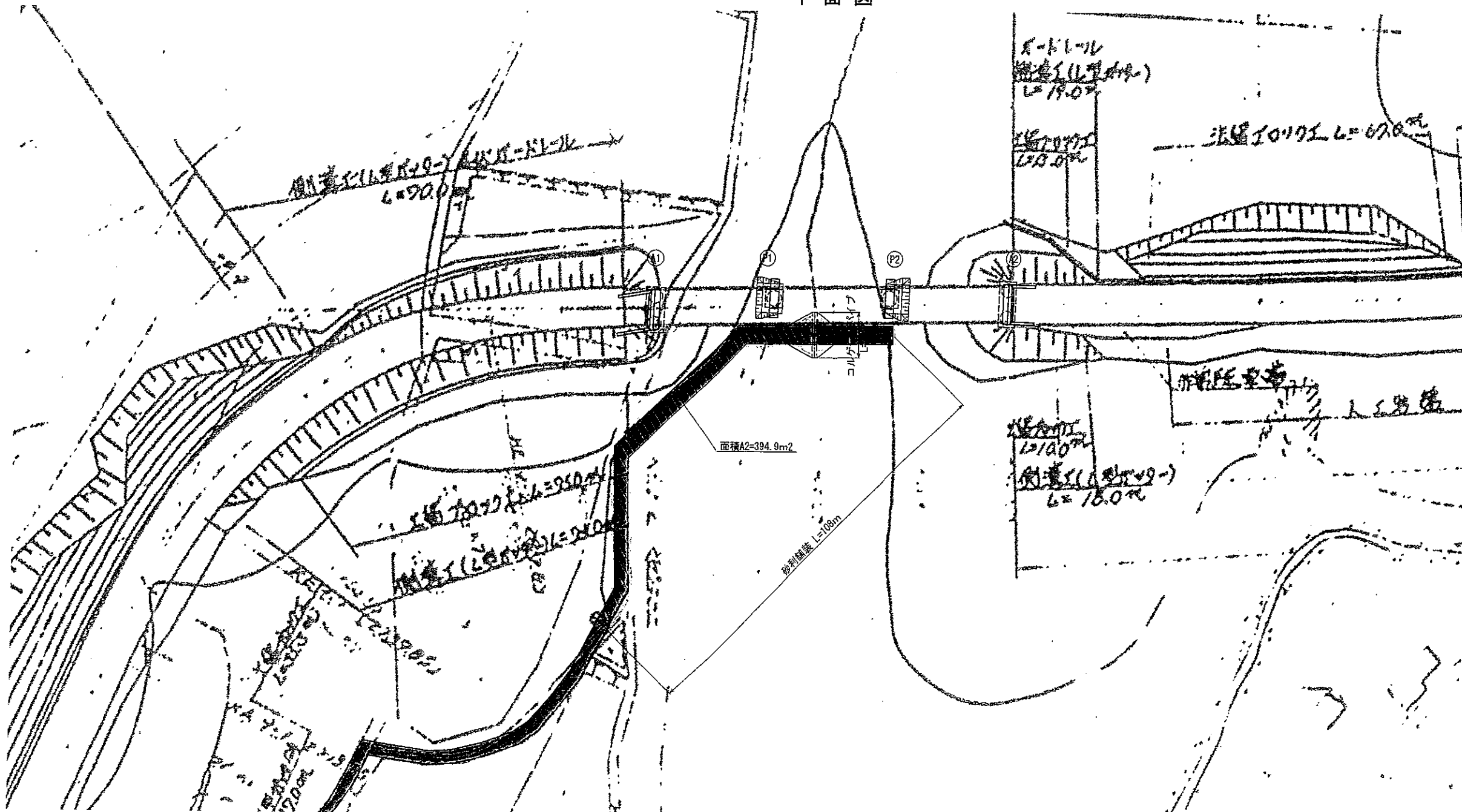
工事用道路横断面図 S=1:100



工事用道路数量

	規格	単位	数量	備考
コルゲートパイプ	φ1000	m	10.0	
工事用道路	盛土	m ³	112.0	面積A1
	撤去	m ³	112.0	面積A1
舗装	砂利舗装	m ²	394.9	面積A2

平面図



平成	年度	工事
番号	施工計画図	幅員図示
(国)142号		
小県郡和田村男女倉(見附橋)		
所長	課長	部長
長野県道路公社		
設計会社	日本技術開発株式会社	管理技術者
調査会社		調査技術者
調査会社		主任技術者
調査会社		主任技術者

9/9